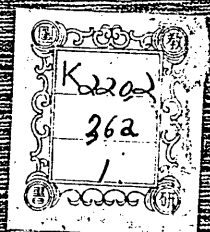
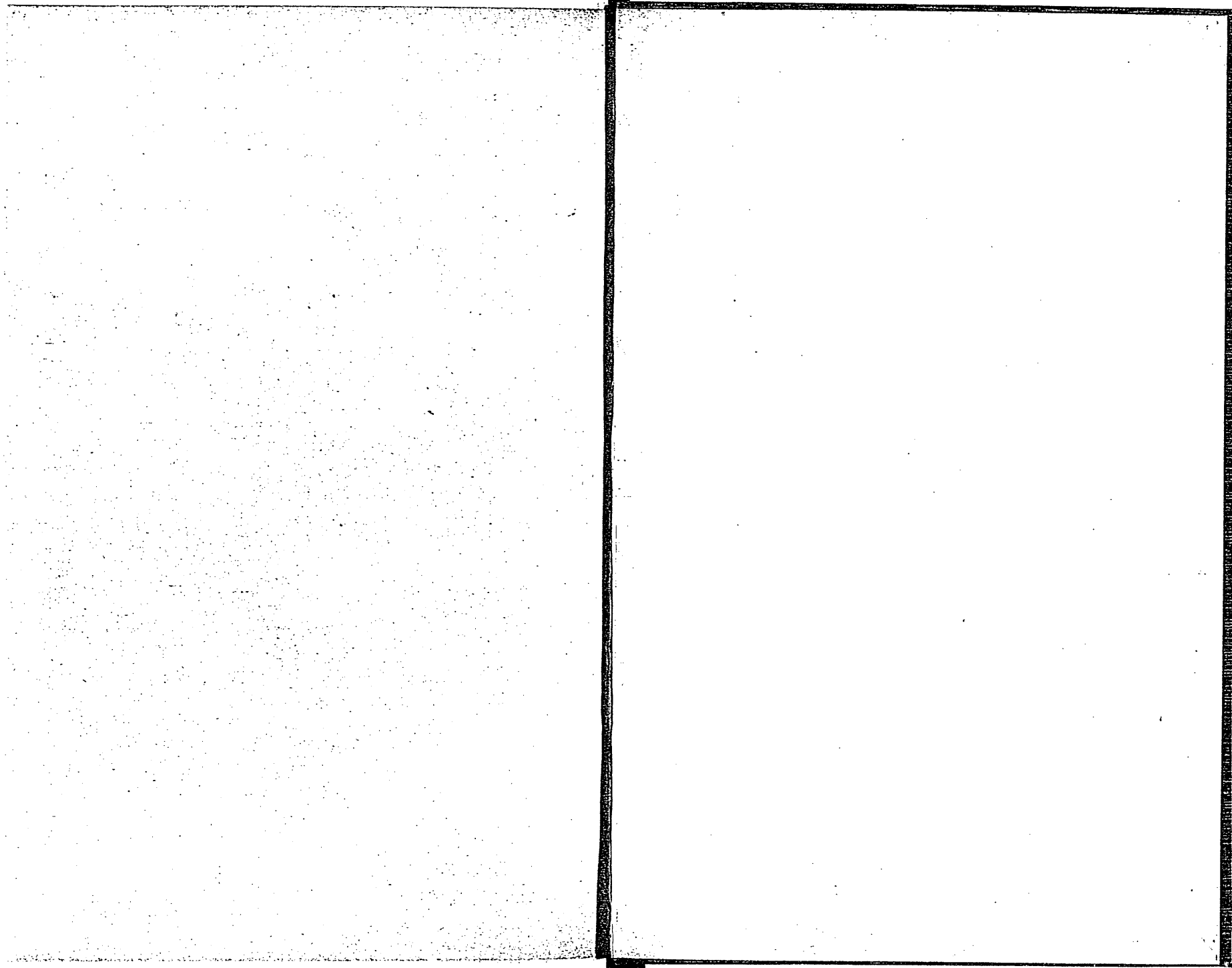


K220.29

36a

1





野口保興著 上卷



東京

目黒書店
成美堂書店
合梓

中等
教科 外國地理

例 言

- 一 本書は中等教育の地理科教授用に充つる爲に編纂せしものにして 帝國地理 地文大意 と相俟つべきものなりとす。
- 一 地圖を本書に挿入するは使用上不便少なからざるべしと信じ別に 外國新地圖 を著作して參照用に供せり。
- 一 本書には米突的度量衡法を用ひたるを以て參照の爲同法に屬せざるもの一二を左に併記せり。
- 一米突(メートル) 三尺三寸
- 一杆(キロメートル) 九町十間

- 一 呎(センチメートル) 三分三厘
- 一 呎(ミリメートル) 三厘三毛
- 一方料 百町八段三畝十歩
- 一 噸(艦の排水量を測るに用ふ) 二百六十六貫六百六十七匁
- 一 哩(マイル) 陸上の距離を測るに用ふ 凡そ十四町四十五間
- 一 哩(マイル) 海に海里と云ふ海上の距離を測るに用ふ 凡そ十六町九分七厘五毛
- 一 普通噸 西洋形商船の大きさを測るに用ふ 凡そ四十立方尺
- 一 温度は總て攝氏寒暖計即ち百度法に依れり。

中等
教科
外國地理目次

上卷

あじあ洲.....一
おせあにあ洲.....七六

中卷

ヨーロッパ洲.....一
あふりか洲.....七七

下卷

あめりか洲.....一
汎論.....四九

第一章	地理の概論	一
第二章	世界の概観	一六
第三章	世界の気候	二七
第四章	世界の地形	三五
第五章	世界の人口	三六
第六章	世界の産業	三七
第七章	世界の交通	三九
第八章	世界の政治	四〇
第九章	世界の文化	四一
第十章	世界の未来	四二

中等地理上巻目次

中等教科 外國地理上巻目次

總論	一
清國	一六
漢土	二七
滿洲	三五
蒙古	三六
新疆	三七
青海	三八
西藏	三九
租借地	四〇
香港	四一
マカオ	四二

目次

二

印度支那	四〇
フランス領	四二
シアン國	四四
イギリス領	四六
マライ群島	四八
アメリカ領	四八
オランダ領	四九
イギリス領	五一
ポルトガル領	五二
印度	五二
印度半島	五二
獨立國	五六
イギリス領	五六
ポルトガル領	五八

フランス領	五八
セイロン島	五九
イラン高原	五九
バルチスタン	六〇
アフガニスタン	六〇
ペルシア	六一
アラビア	六二
オマーン	六三
トルコ領	六三
イギリス領	六三
アジアトルコ	六三
アジアロシア	六六
コーカシア	六六

目次

三

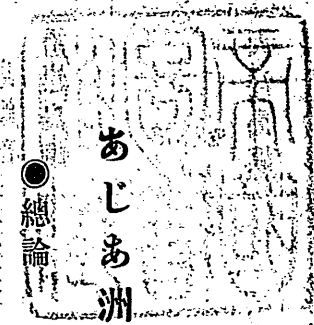
頁数

中央アジア	六八
シベリア	六九
おせあに洲	七六
大陸部	七八
島嶼部	八三
沿岸島嶼	八五
バブ	八六
メラネシア	八七
ニューシラランド	八八
大洋島嶼	八九
ミクロネシア	九〇
中環	九〇

中等科 外国地理

野口保興 著

境域



あじあ洲

● 總論

アジア(亞細亞洲)は舊大陸の北東部を占め五大洲中最、大なるものにして、面積は四千四百萬方呎以上即、我が國の約百倍に達せり、北は北極洋、東は太平洋、南は印度洋に限らるるも西はヨーロッパ洲に接し、またスエズ地峽を以て僅にアフリカ洲に連續せり。

海岸

ア	極南	ブル岬	北緯	一	一六
ジ	四極北	チェリウスキン岬	北緯	七七	四三
ア	大極西	ババ岬	東經	二六	三
陸	極東	デデネフ岬	西經	一六九	四〇

地形 海岸線發達の度は中位以下にして海洋と大陸の

島嶼

中心との距離は五大洲中最、遠し、北岸は甚、簡單にしてオプ
灣、チエリウスキン岬、等を見るに過ぎずと雖、東岸と南岸には
顯著なる海灣、半島、少なからず、而して西岸即、地中海に沿へ
る處は鋸齒狀を呈せり、島嶼は概、東方の沿岸にありて日本
群島、マライ群島著しく、日本海、黄海、東と南との支那海等を
限れるが、ベーリング海峽は北極洋と太平洋とを連ね、マラ
カ海峽は太平洋と印度洋とを連絡せしむ。

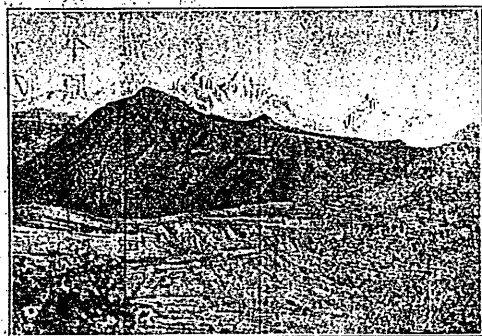
北極洋		オプ灣	ノルデンシエルド海
海灣		太平洋	ベーリング海
		黄海	渤海
		東支那海	南支那海
		アラビア海	ベルシア海
		アデン灣	紅海
海峽		ベーリング	マラッカ
		ダルダネル	ボスボロス
		北部	ヤルマル
		東部	カムチアツカ
		南部	印度支那
		西部	小アジア
		北部	チェリウスキン
地角		東部	デデネフ
		南部	ブル
		スエズ	コモリン
		ロバトカ	

山岳

北部(新シベリア諸島)
 東部 日本群島(千島列島、樺太島、十州島、本州島、海南島)
 マライ群島(ラウイ群島、ボルネオ島、セレンベス島)
 南部(セイロン島、大スンダ列島、小スンダ列島)

西部(キプロス島)

山脈の主なるものは世界の屋棟と稱せらるるバミル高原に起りて四方に出づ。即天山とアルタイとは北東に向ひ、崑崙は東に赴き、世界の最高峰はヒマラヤを戴けるヒマラヤは南東に走り、乾陀利山、エルブシ山、高加索山は西方にあり、此の如く龍巻狀蒙眛する下、バミル、イ



ヒマラヤ山脈

山岳

マダの諸高原は連續し、デカン、アラビアの二高原は孤立せるが、蒙古高原の北隣には本洲最大の平原たるシベリアありて、廣袤比なき窪地に連なり、また死海近傍には世界最低の凹地存在す、火山は南東の沿岸島嶼に多くして地震稀な

天山山系(パンテンリ(七三四〇))

北東部 アルタイ山系(ツサグドボグド(四三〇〇))

中部 ヤンコンノイ山脈(スタノボイ山脈)

東部 崑崙山系

南東部 カラコルム山脈(ダブサン(八六二〇))

ヒマラヤ山系(エベレスト(八八四〇)) カンチンジンガ(八五八二)

西部 ヒンズリク山脈(チラチミル(七七五〇))

エルブール山脈(アマベンド(五四六五))

カフカズ山脈(エルズ(五、四七))

アルメニア山(最大アララト(五一五七))

ヒマラヤ山系

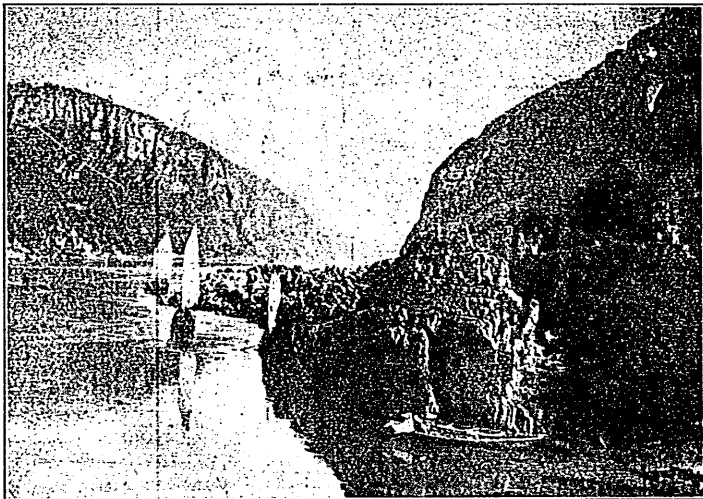
ヒマラヤ山系は東西に走ること二千二百軒に餘り、世界最高の高原たるチベットの南界をなす、本山系は高山秀嶺に富むこと他に比類なく殊にエベレストは八千八百四十米突の海拔を有して山岳の王と稱せらる。

河流に就きては北極洋斜面にオプ、イエニセイ、レナ、等ありて太平洋斜面にアムル、黄河、揚子江、メコン、等あり、ブラマブトラ、ガンガ、インドス、エウフラト、等は印度洋斜面に屬し、アム、シル、ウラル、等は内部の閉塞地にあり。

面斜		面斜	
河	名	河	名
オプ	長	ブラマブトラ	長
イエニセイ	五三〇〇	ガンガ	二五〇〇
レナ	五〇〇〇	インドス	二〇〇〇
アムル	四六〇〇	エウフラト	二〇〇〇
黄河	四四八〇	アム	二五〇〇
揚子江	四〇〇〇	シル	二六〇〇
メコン	四八〇〇	ウラル	二二七九
流域		流域	
二九四	二九四	二	二

揚子江

湖沼



揚子江、北湖、名

揚子江は長江大江等と稱せられ或は單に江と云ふ崑崙山系に屬するバヤンハラ山脈の南西面に起り、嘉陵江、岷江、漢江等の諸河並に洞庭鄱陽二湖の水を受けて東の方東支那海に注ぐ、交通灌漑の便多く實に本洲第一の大河たり。

湖沼にはカスピ海を始とし、アラル海、バルハシ湖等の鹹湖ありて、バikal湖、其他の淡水湖あり、カスピ海は世界の

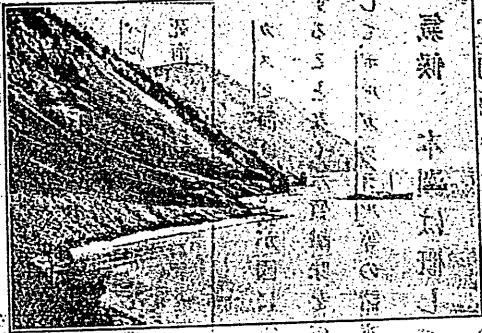
カスピ海
氣温
雨量

湖沼	面積	高度	水深
カスピ海	386,000	(海面下)	985
アラール海	67,000	71	7
バイカル湖	31,800	930	1,637
バルカシ湖	10,000	1,030	1,500
死海	925	(海面下)	800

カスピ海は略我が國に等しき面積を有し世界第一の大湖なり外洋に通ずることなく水質鹹味を帶ぶ其の水面は黒海に比すれば三呎六寸深み低くしてボルガツラル等の諸水此處に注ぐ。

氣候 本洲は概して溫帶に屬すれども北東部には極寒の土南西部には酷熱の地あり南部東部并に小アジアの沿海地の外は氣候一般に大陸的にして氣温の變化激烈なり

雨量
植物
動物



而して雨量は其の分布一様ならずして降雨は南東部に多し土南西部は乾燥の地なり蒙古イランアラビア等の如き乾燥地帯に於ては雨季の地には沙漠を出現せしめたり。

天産植物の繁殖は南部に盛んにしてチーク、コユヤシ、竹類の外、バナヤン樹、マングローフ、香料植物等の存するあるも北進すれば樹木は漸減少して矮少となり、北極洋岸に至れば地衣、蘚苔の類を見るに過ぎず動物に就きては獅子、犀、象、鱈魚、ゴブラ等は南部に限られ白熊、膾膾獸、毛皮獸等は北部に産し、北東の沿海

鑛物

人口

種族



種狐は優長なる毛皮を興ふ

色人種二億五百萬ありて黑色人種及マライ人はマライ群島及其の附近に住す。

には鯉、鯉、鱒、鯪、鮭等の魚類少なからず、また鑛物には金、銀、石炭、石油等あり。

住民人口は八億五千萬に達して世界總人口の過半に當れども、密度はヨーロッパに及ばず、處に依りて非常の懸隔を生じ、南東部の外は概稀薄なりとす、而して住民の大部は黄色人種、五億七千五百萬に屬し、南部より西部には白

宗教

人種		派		群	
黄色	白色	黑色	派	群	群
モンゴリア	アフリカ	ネグリティ	支那	蒙古	トルコ
北方	セム	バブア	支那	日韓	漢
フィン	アラビア	ネグリティ	支那	東シベリア	チベット
	アラビア	バブア	支那	西シベリア	フィン
	アラビア	バブア	支那	ヒンド	イラン
	アラビア	バブア	支那	アラビア	シリア
	アラビア	バブア	支那	アラビア	シリア
	アラビア	バブア	支那	アラビア	シリア

本洲は優等なる宗教の淵源地なり、佛教は最多くの信者（五億）を有し、東部及中部の黄色人種は概之に屬す、印度教は印度の住民の大部（二億二千萬）の歸依する所なり、而してユダヤ（五十萬）及キリスト（五百萬）の教徒は各地に散在して

其の數多からず、またマホメット教を奉ずるもの（二億三千萬）は西部、中部等に居り、此の外北部の黄色人にシヤマン教を迷信するものあり。

生業 北部の林業、鑛業、西部の牧業は現今該地方の居民が最要の業務とする所なるが、南部、東部は夥多なる原料を供給するのみならず、各種の製品を與へヨーロッパ、アメリカ諸國の產物と競争するに至れり。

海路の航行は太平洋、印度洋に盛にして北極洋の如きは到底船舶の通航に適せず、陸上の交通は未^レ便利ならざれども我が日本、印度、韓國、清國、シベリア、中央アジア等には鐵道の發達するあり、電信線は大陸を横斷するのみならず、太平洋を横ぎりてアメリカに達せり。

分國表

分國 本洲の獨立國は我が大日本帝國の外に、清國、シム
ベルシア等の數國あるのみにして、其の他はロシア、イギリ
ス、トルコ、フランス、オランダ、アメリカ合衆國等に分屬す。

邦	土	地	積	人	口	密	度	都	邑
日本帝國			四〇、四六六	五〇、九〇、四六六	二二	東京			
日本			四五、一〇二	五〇、五、三四七	一二	旅順			
關東州租借地			三、五六六	二五、〇〇〇	四	京城			
韓國			二、八六五〇	九六、一六七	四				
清國			二、一三八八〇	三、〇三三、〇〇〇	三〇				
十八省(漢土)			三八七、七〇〇	三、一九五、〇〇〇	八二	北京			
東三省(滿洲)			九三、九八〇	五五、〇〇〇	六	奉天			
新疆			一四、三六〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇七	ウルムチ			
蒙古			二六、七六〇〇	一八五、〇〇〇	〇六	庫倫(ウルガ)			
西藏			二〇、九〇〇〇	二五、〇〇〇〇	一	ラッサ			

シム國	六三、三〇〇	六〇〇、〇〇〇	九	バンコク
ブータン	三、四〇〇	二五、〇〇〇	七	タシスードン
ネパール	一五、四〇〇	三〇〇、〇〇〇	一九	カトマンズ
アフガニスタン	五五、四〇〇	五〇〇、〇〇〇	九	カブル
ペルシア	一六四、五〇〇	九〇〇、〇〇〇	六	テヘラン
オマーン	一九、四二〇	一〇〇、〇〇〇	五	マスカット
アラビア(無所屬部)	二四七、五〇〇	一五、〇〇〇	〇八	スミルナ
アジアトルコ	一七六、八〇〇	一六八、八〇〇	九	ワチー
*サモス	四六八	五、四三三	二七	ニコシア
*キプロス	九、〇一	四、八二四	六	
*シナイ	五九、〇〇〇	九、〇〇	〇一	チフリ
アジアロシア	一七四、二五〇	二四八、一六六	一	タシケント
コーカシア	四七、三〇六	九八、九六四	二〇	イルクツク
中央アジア	三六四、七〇五	七、四、六七八	二	
シベリア	一五三、四二〇	五、七三、〇四〇	〇五	
ブハラ	一〇五、〇〇〇	一三、五〇〇	六	

ヒバ	六、〇〇〇	八〇、〇〇〇	二三	ヒバ
カスピ海	四三、八六八			
アラル海	六、七五七			
イギリス領	五九、一七〇	三、〇一〇、三、五〇〇	六	カルカッタ
印度帝國	四八、六二〇	二、九五、二、三〇〇	六	コロンボ
セイロン	六、九九三	三八、二九三	六	シンガポール
マルヂバ	三〇〇	三、〇〇〇	一〇	
海峽殖民地	三、九五三	五、九四八	一五	
マライ保護國	七、〇〇〇	八、三八五	二	
ジャホル	一八、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二	
北ボルネオ	八〇、五二	一六、〇〇〇	二	サンダカン
ラプアン	六	八四二	一〇八	ビクトリア
ブルネイ保護國	二、七〇〇	一、〇〇〇	〇五	クチン
サラワク保護國	一〇、三三二	五、〇〇〇	五	ビクトリア
香港	九	三、五、〇〇〇		
香港租借地	九七	一〇、三五四	一〇三	

威海衛租借地	七六	一三、〇七三	一五	...
其他島嶼	...	...	...	...
オランダ領	一五、〇六六	三、四九、四〇〇	二四	バタビア
フランス領	六、四三〇〇	一、九一九、一七三	元	...
印度支那	六、三〇〇	一、八三、五九八	二九	ハノイ
印度	五〇九	二七三、八五	四五	ボンデシヨリー
アメリカ領	二九、六三〇	七三、四三六	二七	マニラ
ポルトガル領	一、九一八	八、〇〇〇	四〇	...
マカオ	一一	七、六三七	一	...
チモール・カンピン	一、六四六	二〇、〇〇〇	一三	...
印度	五、五八	五、一七六	一五	...
ドイツ領 膠州灣 租借地	五二	二、〇〇〇	二七	青島

◎ 清國

清國は俗に支那と稱せられ、世界屈指の大國にして我が國の約二十五倍に當れり、東の大部は海に面するが、其の他

境域

海岸線

地勢

山岳

はロシア、イギリス領、フランス領等と境を接し、南北は凡三千五百軒、東西は約五千二百軒あり、

海岸線の發達は優良なるに非ざるも、尙海灣に渤海遼東半島に遼東、山東、雷州あり、地角に旅順角、山東角あり、海峽に直隸、福建、海南あり、島嶼に舟山、海南等あり、

西部より北西部は一大高原をなし、ヒマラヤ山脈の北面にありては平均四千米突以上の高臺を呈せるも、其の北方には海面下に位する處あり、又北東部并に南東部にありては河流の灌域谷地に屬する平低の土を現出せり。
バミル高原に起れる山脈には廣大なる支那の國土を抱括するあり、或は其の内部に連亘するあり、北東に赴くは天

山系、アルタイ山系の一派にして、中部に於けるものは崑崙山系に屬し、南東に走れるものはヒマラヤ山系なり、而して支那山系は漢土の南東部一帯の地に亘れり。

パミル高原 ムスタハフタ(七八六〇)

天山山系 ハンテンリ(七三四〇)

西崑崙崑崙山脈

中崑崙北脈 中脈 南脈

東崑崙

北脈

大行山脈

恒山山脈 恒山

陰山山脈

南脈

岷山山脈

秦嶺山脈 華山

崑崙山系

伏牛山脈 崑崙山

興安山脈

大興安山脈

小興安山脈

長白山脈

山東山脈 泰山

遼東山脈

橫斷山脈

支那山系 苗嶺山脈

大庾嶺山脈 衡山

仙霞嶺山脈

ヒマラヤ山脈

河。流は北極洋、太平洋、印度洋の三斜面并に閉塞地に屬し、太平洋斜面にはアムル、黄河、揚子江、西江等の長流あるが、北極洋并に印度洋の斜面に屬するものは概其の上流のみ清國內にあるを見る。

北極洋斜面 黒イルチン河 イェニセイ河

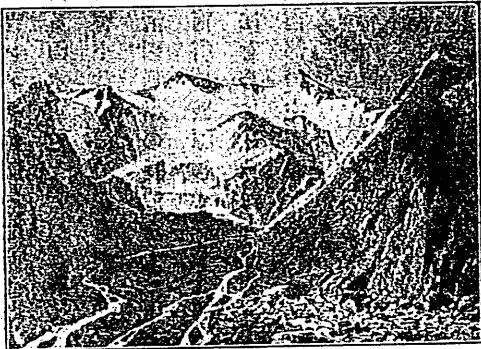
太平洋斜面 黒龍江 遼河 白河 黄河

揚子江 西江 ソンコイ河 瀾滄江(メコン)

怒江(サルウィン)の(上流) ヤルザンボ河(フウマブト)

印度洋斜面 インドス河(上流)

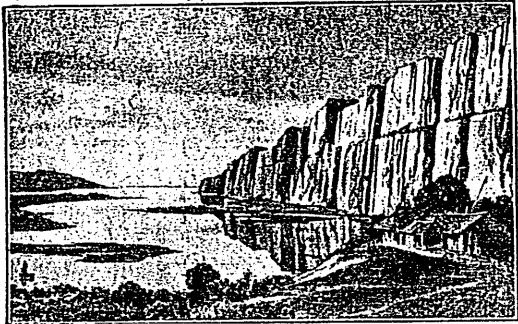
閉塞地 タリム河 イリ河



【系山ソロンコ】河氷の山トルボソフ

沼湖

氣候



黒龍江は一にアムルと云ふ、シベリア及蒙古に發源し、清國とロシアとの境を流れ、遂にロシア領の地を過ぎてオホーツク海に入る。長は四千五百里に近く、支流に松花江、ウスリ江等あり。

黄河はバヤンハラ山脈の北面に發して、單に河と呼ぶ。河水黄色を帶び、水勢急激、河道屢變じて大害。小益の河流なるが長は四千一百里ありて、清國屈指の長流なり。

西江は雲南省に發源して、一千八百里の長あり、北江、東江を合はせ、珠江と成りて海に通ず。實に清國南部の主流なり。

湖沼には著大なるものなきも

鄱陽湖、洞庭湖、ユコノルは其の名高し。

清國は土地廣大なるも、海洋に瀕すること多からざれば、

天産

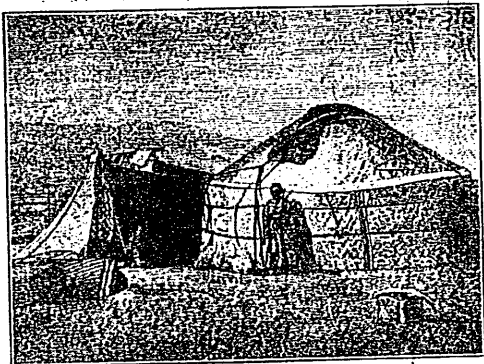


〔漠沙ンカマラクタ〕 風 砂

氣候に不同あるは勿論なれども、概大陸的にして中和を得たる處少なく、北部より西部に亘れる地方は降雨稀にして、草原、沙漠の存するあり。然れども江河の沿岸には灌漑の便ある肥沃の低地、少ならず。また南部の沿海地方は立春、立秋の頃、大風と稱する旋風の起ることあり。

鑛物には金、銀、鐵、石炭等ありて、玉類は古來其の名高く、植物は南東部に稍多くして、紫檀、黑檀、竹類等を生じ、動物には熊、虎、麝、猿等ありて、特に彩雞、銀雉、孔雀等は世に知らる。

住民



蒙古人の居住

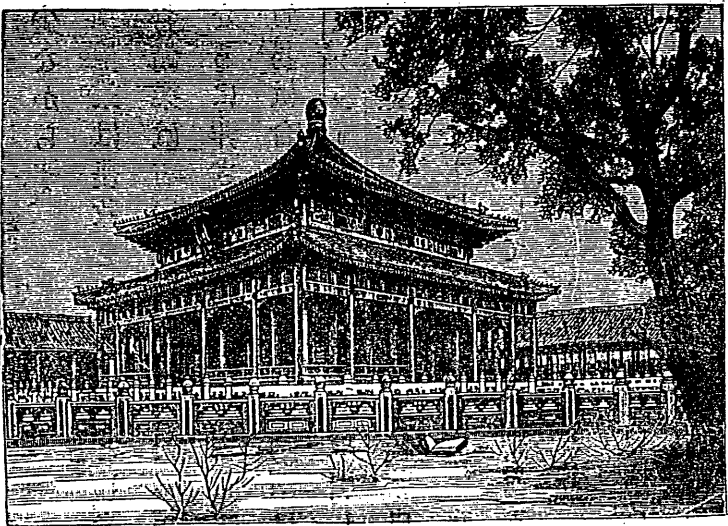
漢族

漢族は有爲高尚なる理想に乏しく、家あるを知りて國あるを知らざるが如くなれども、清國の住民中にて最優等に位し、堅忍儉嗇の點に於ては天下無比と稱せらる。而して女子は小足を貫びて歩行し能はざるの奇俗ありて男子には辮髪を爲すの異風あり、また阿片を喫するの惡習は未だ絶ゆるに至

人口は三億三千餘萬ありて世界總人口の五分の一以上に達するが、粗密の度には甚しき不平均あり、種族上は概々黃色人種に屬して漢族、蒙古族、ツングス族等に分かれ、言語は種族に依りて差異あるのみならず、土語も頗る多く、唯、官話と稱するものののみ國內一般に通用す。

宗教

教育



聖廟 (北京)

らず。

宗教には道教、佛教、喇嘛教、マホメット教、キリスト教等あり、此の外、儒教の廣く信奉せらるるは人のよく知る所なり。教育は毫進歩發達を意とせざりしが、近來西洋式の學校次第に起り、實用の學藝を修むるもの多きを加へ、海外殊に我が國に留學するもの

生業

少なからず。

生業は農牧を以て第一とし、米、麥、豆、綿、牛、馬、豚等の産に富む。鑛業は石炭、鐵、金、銀等を與へ、頗る有望なりとす。工業は甚盛なるに非ざるも、綿絲、蠶絲、絹布、綿布、陶磁器、茶、砂糖等を製す。貿易は合計六億八千萬、海關兩に餘り、主として香港、イギリス、アメリカ合衆國、日本と取引し、輸入品には綿布、綿絲、阿片、銅等ありて、輸出品には生絲、茶、皮革、豆類、綿、絹布等あり。開港開市は七十に近くして、上海、廣東、天津、漢口、厦門等殊に著はる。交通に關しては、道路の設備不充分なれども、揚子江は水運の便を與ふること甚多く、鐵道は次第に増加しつつあり。

政治

清國は君主專政國にして、中央に軍機處、內閣、十一部、外務部、民政部、農工商部、郵電部、理藩部等あり。地方は漢土を十八省、滿

洲を三省に分ち、一省若しくは數省に就きて總督を置き、各省に巡撫を設くるを常とす。而して新疆省は巡撫之を管し、蒙古、青海、西藏は理藩部に屬せしむ。

漢土									
十八									
總督	直隸	兩江	兩江	閩浙	兩湖	兩湖	湖南	湖北	河南
總督衙門所在地	保定	江寧	江寧	福州	武昌	武昌	開封	武昌	開封
省名	直隸	安徽	江西	福建	浙江	湖北	湖南	湖北	河南
巡撫衙門所在地	保定	安慶	南昌	福州	杭州	武昌	武昌	武昌	開封
積人	三、四八〇、〇〇〇	九、九三〇、〇〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇	一七、七五〇、〇〇〇	一、二二〇、〇〇〇	九、二〇〇、〇〇〇	一、八四〇、〇〇〇	二、〇五〇、〇〇〇	一、七五〇、〇〇〇
人口	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇
密度	五九	一八四	二二九	二四	一六	二四	一五	一六	一六

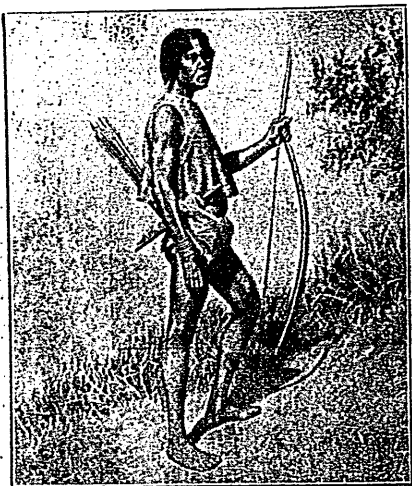
洲 滿	(省 八)				
	雲 貴 南	兩 廣 州	四 川 成 都	陝 甘 蘭 州	
東三省 奉天	貴州 雲南	廣西 廣東	四川	陝西 甘肅	山西 山東
黑龍江 吉林 齊齊哈爾	貴州 雲南 陽	廣西 廣東 桂林	四川	陝西 甘肅 蘭州	山西 山東 太原
五三,1000	一五,七,000	二二,七,000	四六,1000	一六,三,000	二四,六,000
二七,1000	一五,七,000	二二,七,000	四六,1000	一六,三,000	二四,六,000
一四,五,000	一五,七,000	二二,七,000	四六,1000	一六,三,000	二四,六,000
四三,000	一五,七,000	二二,七,000	四六,1000	一六,三,000	二四,六,000
三,000,000	一五,七,000	二二,七,000	四六,1000	一六,三,000	二四,六,000
一〇,000,000	一五,七,000	二二,七,000	四六,1000	一六,三,000	二四,六,000
二	三	九	六	四	二

兵備上三十六師團の陸軍を置くべく規定せられたるも
新式の兵は現今十一萬餘人に過ぎずして、海軍も四萬餘噸

の艦船を備ふるのみなり、歳入は比較的になく、地租、海關
税、等の八千八百餘萬海關兩にして、歳出一億餘萬海關兩は
軍事費、地方費、等に充てられ、國債は近年大に増加せり。

漢土

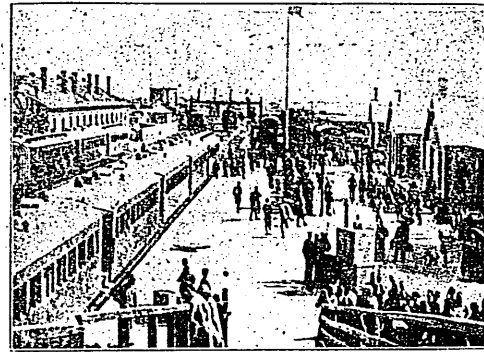
漢土即十八省は清國の南東部を占め、當國中、最要



苗 族

の地方なり、海岸線の大部
は此の地方に屬し、港灣に
乏しからずして、北嶺(東崑
崙)南嶺(支那山系)は域内を
三分す、河流に北河、黄河、揚
子江、西江、等あり、黄河は黃
土の堆積せる地方を流れて、
其の水濁り下流は洪水

屢起るが、揚子江は舟運の便多く、西江は南部の良水脈たり、氣候は北部に嚴寒を覺え、南部は炎暑を感ず、住民は甚多く、



天津鐵路

清國の人口の九割以上は此の地方にありて、概々漢族なり、交通に就きては古來南船北馬の稱あるも、近年鐵道の敷設漸多し、又大運河は長城と並びて當國の二大工事と稱せらる。北京即順天府は皇城の所在地にして清國の帝都なり、人口は五十萬に過ぎずと云ひ或は百六十五萬ありと稱せらる、大内は皇城の中にあるりて之を包むを内城とす、數多の官衙、各國公使館等のある

北京

天津

張家口

瀋陽

歸化城

蘭州

處なり、内城の南に於ける外城は市街の地とす、道路は整はざるが鐵路は天津、漢口等に通ず、近郊に名勝の地少なからず、天津は白河と運河との會點にありて水陸運輸の便を有し、北漢最要の通商地にして頗る殷賑なり、開平は炭坑を以て知られ、秦皇島は不凍の開港なり、張家口は一にカルガンと云ひ陸路貿易上の要地なり。

濟南は山東省の首府にて鐵道の便を有し、瀋陽縣は同省第一の商區にして、芝罘は開港場の一なり、太原は山西巡撫の駐在する處なり、四近の農産を集散す、歸化城は一にククホトと云ひ陸路貿易地なり、河南省の首府たる開封は屢黄河の危害を蒙れるも農産に豐なり、河南は洛水の陽にある舊地とす、西安は渭水の南に位し亦歴史上名を知らる、蘭州は

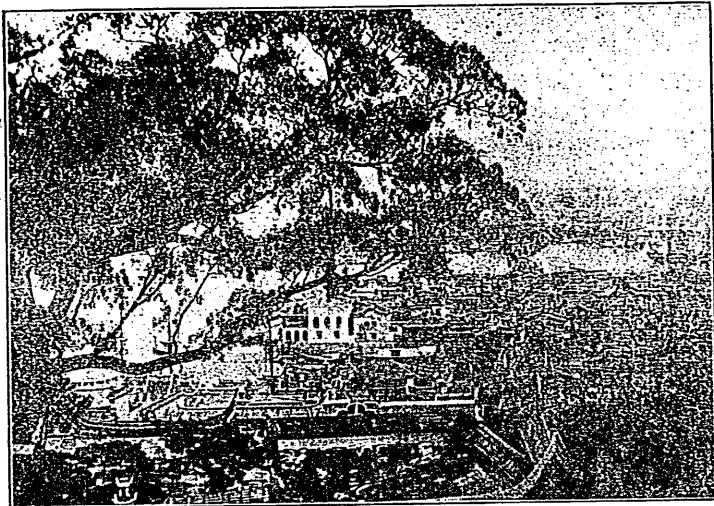
成都 重慶 漢口 長沙 蕪湖



四川省政府

陝甘總督衙門のある處にして交通上の要區たり、西寧は青海地方を管理する大官の駐在地にして軍事上の要處たり。
成都は岷江に近くして市街整備し四川總督衙門の所在地なり、重慶は嘉陵江の口に位して有望の開港たり、宜昌、沙市も亦通商の河港とす、漢口は揚子江に臨みて漢陽及兩湖總督の駐在する武昌と鼎立し内部貿易の大中心なり、鐵路は北京に通ず、長沙は省城地にして商業繁昌す、岳州は洞庭湖に臨み亦貿易場なり、蕪湖は通商港の一にし

鎮江 江寧 蘇州 上海



福建省建甌州

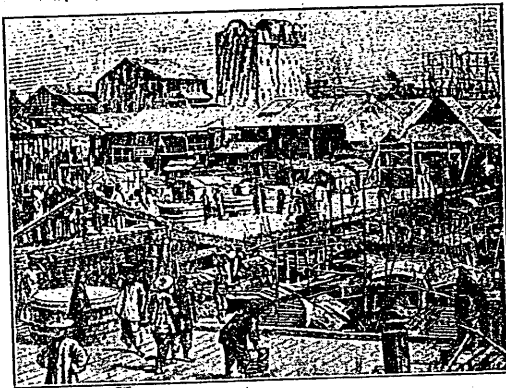
て穀物、織物を集散す、鎮江は大江と運河との會點に於ける通商港なり、江寧は一に南京と云ひ明の舊都たりし處にして、今は兩江總督駐劄し貿易場に列す、蘇州は風景の美を備へ絹織物の産多く繁盛なる市街にして外國との貿易を許さる、上海は黃浦江に瀕して交通の要衝に當り

杭州
寧波

福州

厦門

廣東



廣州府 (廣東省)

工業盛大に赴き清國第一の貿易港たり、鐵路に依りて吳淞と通ず、杭州は大運河の南口に沿ひて風色に富み絹布を製し外國貿易行はる、寧波は古來有名の地なり、開港の一として綿花、蔗糖等を輸出す。

福州は閩浙總督衙門のある開港にして茶、木材、紙等を輸出す、厦門は臺灣と相對せる開港なり、茶、紙、砂糖等を輸出す、廣州一名廣東は兩廣總督の駐在地なり、西江に沿ひて水運の便に富み商工業繁昌し南部第一の都會たるに耻ぢず、雲南は雲貴總督の居る

處なり。

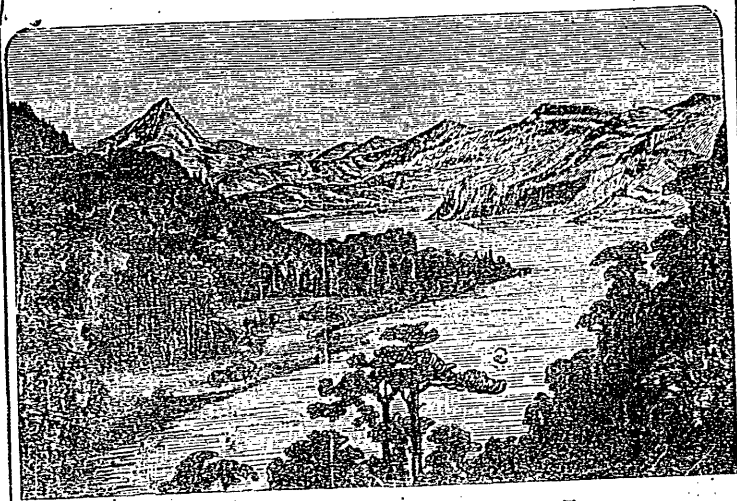
滿洲

滿洲は清國の北東部を占め奉天、吉林、黑龍江の三省を抱括するが故に東三省とも稱せられ、面積は我が北海道の十倍に近し、遼東半島は南西に突出して渤海と黃海とを分ち、東に長白山脈、西に興安嶺あり、遼河は南流して渤海に注ぎ、松花江、ウスリ江は孰もアムル江に會す、氣候は寒暑共に甚しく、住民は稀にして漢族、ツシグス等より成り、產物は高粱、大豆、豆油、毛皮等を主とす、交通の便は未だ多からざるも航河、鐵道等あり、南滿洲は我が帝國が鐵道の經營、鑛山の採掘等の如き特殊の利權を有する處にして域内著名の戰場多く北滿洲に於ける東清鐵道はロシアに屬せり。

奉天

奉天は清國の舊都、東三省總督の駐在地、滿洲第一の都會

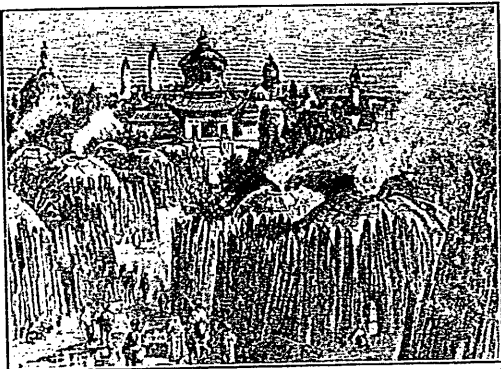
營口



（阿ムア）江龍黒

なり、市街は内外二重に城壁を繞らし、物貨の集散盛に行はれ、開市場の一なり、遼陽は遼河の支流に沿へる商業地とす、營口は西洋人の牛莊なり、遼河の下流に臨む開港にして豆類、豆粕等を輸出す、安東は鴨綠江に瀕し、安奉線の起點に當り、大東溝と共に開港として木材の輸出盛に行

吉林



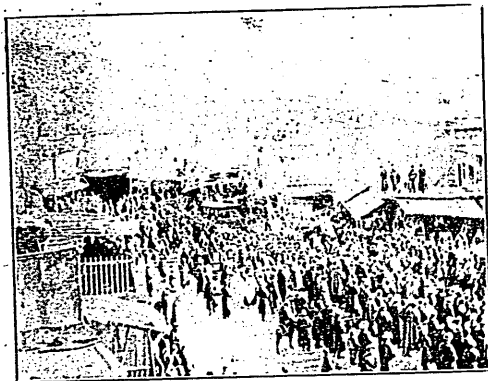
（ガ）ル（リ）倫（原）

はる吉林は松花江に沿ひ、齊々哈爾はノンニ河に瀕す、長春は商業地にして南滿線の終點なり、ハルビン（哈爾賓）は東清線の交叉點にして開市の一なり。

蒙古 蒙古は清國の北部にありて大高原をなし、ゴビ沙漠に依りて内外の二部に分たる、漠北にはオプ、イニセイ、アムル等の上流ありて漠南には黄河の一部あり、氣候は一般に大陸的にして風力強し、住民は概蒙古種族に屬し、主として牧業に従事す、庫倫（ウルガ）は蒙古の最大都會にして買賣城

は北境に近き貿易場なり。

新疆 新疆は清國の西部を占むる一省にして天山山脈



祝祭日 カシガ

に依りて南北の二部に分たれ、南部のタリム河はロプノル湖に注ぎ北部にイリ河あり、氣候は大陸的にしてトルコ種族多くマホメト教行はる、首邑ウルムチ(迪化府)は交通上の要區にしてクルヂ(寧遠)は地方の商區たり、またカシガル、ヤルカンド、ホタンは東トルキスタンの名區とす。

青海

青海は黄河揚子江の上流地方を含み土地高隆、住

民稀にして遊牧を事とす。



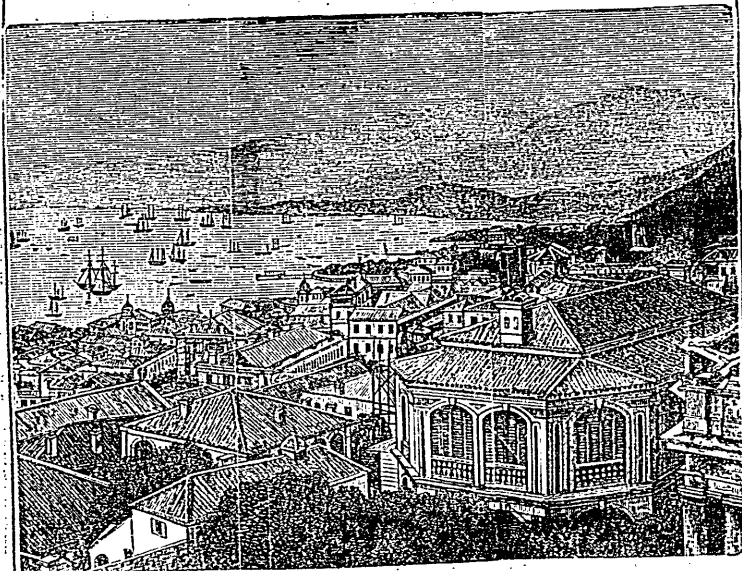
鹽湖、サナマ、ラアラと型イカス

西藏 西藏は清國の南西部にありてヒマラヤ山脈を南にして世界無比の大高原を爲す、其の平均海拔は我が富士山より高しと云ふ、メコン、ブラマプトラ、インドス、等此の地に發源し、湖沼多し、氣候は極めて大陸的なり、住民は稀にして喇嘛教を奉じ犂牛を飼養す、首府ラサ(拉薩)は達來喇嘛の住處にして市街は殆ど宮殿と寺院とを以て充たさる。

租借地 清國には我が關東州の

威海衛

九龍



香港

外一定の年限を以て外國に貸與せる地あり、威海衛、膠州灣、九龍、廣州灣之なり。
威海衛は山東省の北岸にありて明治二十七八年の戰役以來其の名邦人によく知られ、香港の對岸に於ける九龍と共にイギリスの租借せる處とす。

膠州灣

廣州灣

ビクトリア

膠州灣は山東省の南岸にありて良錨地を有するが故にドイツは之を租借して青島に軍港と商港とを設け、内部に向ひて鐵道(山東線)を敷けり。

廣州灣は廣東省雷州半島の東岸にありてフランス之を租借し、行政上印度支那總督支配の下に置けり。

◎ 香港

香港島は廣東省の沿岸にありて附近の小嶼と共にイギリスに屬す、北西岸のビクトリアは良港に臨み船舶の出入頻繁にして市街は繁昌を極め、東洋屈指の貿易場、軍事上の要地なり。

◎ マカオ

媽港、澳門は香港の西にありてポルトガルに屬す。

あじあ洲 清國

境域

海岸

山河

◎ 印度支那

印度支那は南アジアの一大半島にして面積は我が國の五倍に近く、印度と支那とに接續して南支那海と印度洋がベガル海、ベンとに沿ひ、卵形部とマライ半島部とはクラ地峽に依りて接續す。

海岸線の延長は長からずしてトンキン灣、シム灣、マルタバン灣等あるも島嶼には大なるものなし。

山脈は高隆ならずして方向單純なるが南北に走りて狭長なる谷地を挟めり、さればソンコイ河の外はメコン、サルウィン、イラワヂ等孰もは南流せり。

メコン河は半島第一の長流なり、西藏地方に發して潤滄江と稱せられ漸次南に向ひてコンに至りて瀑流をなし、ブノンベンに於てトンレサプ湖の

氣候

天産

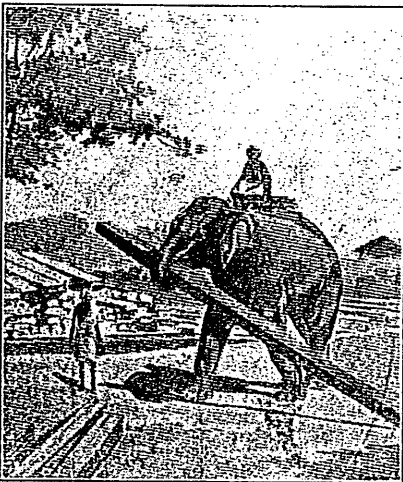
住民

分國

水を受けたる後、三角洲を呈して海に注ぐ、長は四千五百軒を下らず。氣候は熱帶的にして季候風の方に従ひて濕候と乾候とを生じ、雨量は西部に多し。

植物は、チーク、椰樹の類に富み、動物に象、犀等あり、礦物に

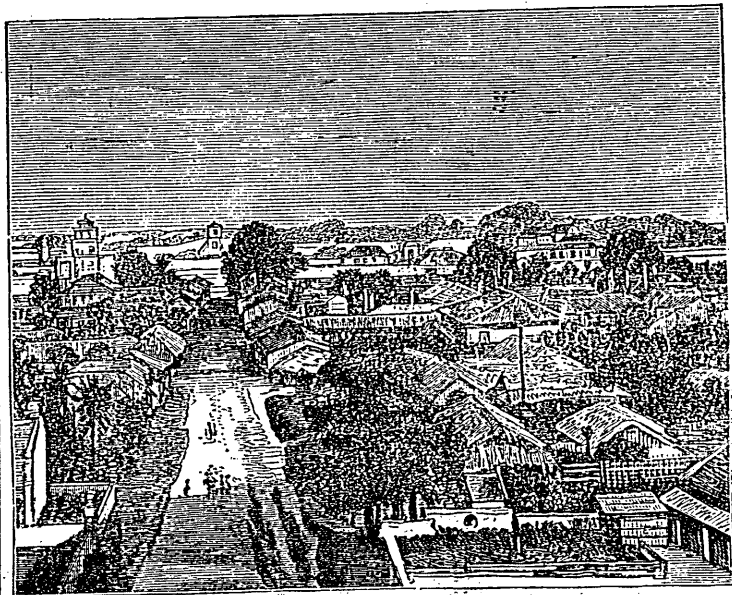
鐵、鉛、錫等あり。



チークの運搬に象を用ふ

住民は數種族より成れるが主として黃色人種、殊に其の印度支那群に屬し、支那人の勢力侮るべからずと云ふ、宗教は佛教最盛なり。

印度支那に於ける獨立國は中部のシムのみにして東部



(河) イ ノ ハ

はフランス領南部
と西部とはイギリ
ス領なり。

フランス領 フ

ランス領は南支那
海に沿ひてS字形
を呈し、トンキン、ア
ンナム、コシエンシー
ヌ、カンボヂア、ラオス
の五部より成れる
が、一總督の管理に
屬す、住民に黄色人

トンキン

種、マライ人等ありて内部には蕃人少なからず、佛教又は儒
教行はれ、農業は稍盛にして米産多く、魚類に乏しからず、胡
椒、石炭等も輸出せらる、鐵道(既成線一千杆餘)の經營は頗る注
意せられ、漸次南清に延長せんとす。

トンキン(殖民地)は印度支那の北東隅にありてトンキン
灣に沿ふ、ソンコイ河に臨めるハノイ(河内)はフランス領の
首府にして總督の駐在地たり、ハイホン(海防)はトンキン最
要の河港なり。

アンナム

アンナム(王國)はトンキンの南に位し沿海の地にはホン
コヘ、カムラン等の彎曲あるも未利用するに至らず、首府を
フエと云ふ。

コシエン
シーヌ

コシエンシーヌ(殖民地)は南支那海とシム灣との間にあり、

首府サイゴン^{サイゴン}はメコン下流の低地に建ちフランス極東艦隊の根據地とす。

カンボヂア

カンボヂア^{カンボヂア}(王國)はフランスの保護の下にあり、^{ユンシ}の北西に隣してメコンの流域に屬する地多きを占め、地勢概平低なり、首府を^{フノンベン}と云ふ。

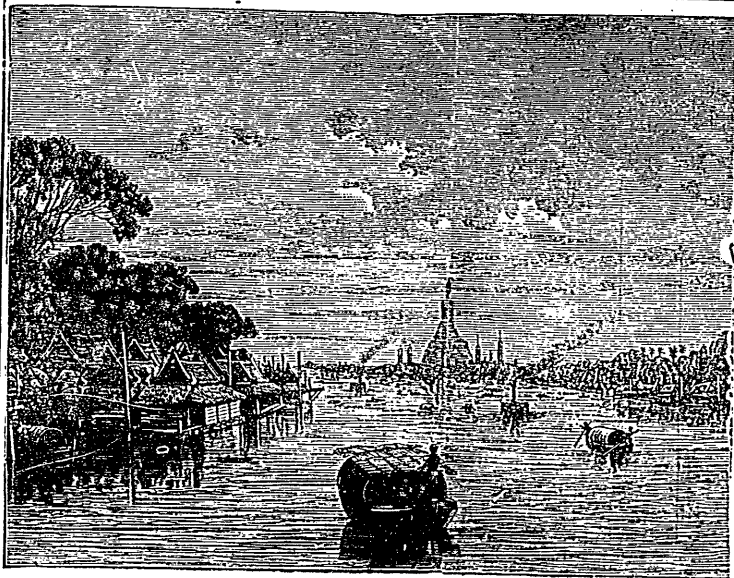
ラオス

ラオス^{ラオス}(保護地)はトンキン、アンナム、カンボヂア、清國と境し、西はメコンに限らる、住民の文化は概して低し。

シム國

シム^{シム}(暹羅國)は印度支那半島の中部に位し、マライ半島に跨りてシム灣、ベグー海に沿ふ、南流するメナム河の沿岸には稍廣き平野あり。

住民は其の數多からずして佛教を奉じ、教育は未盛ならざれども漸次好況を呈せざるに非ず、而して國土の拓殖は



谷 盤 と 河 南 洪

不^レ充分なれども、生^レ業^ノの第一位は農業之を占め、牧業、林業、等にも見るべきものありて米、^{チーク}、皮類、胡椒等を輸出し、鐵道は發達しつつあり。

當國は君主專政の王國にして内閣、八省、參事院、等を備ふるも地方は本領と屬領との二部に分かれ、國勢

バンコク

は未だ強大ならず。

首府バンコク(盤谷)はメナム河に跨り、商業稍盛にして住

民の半は支那人なり、附屬港をバ

クナムと云ふ、クルンカオ附近に

は野象多く、キエンマイは北部の

商區たり。

イギリス領

イギリス領はバ

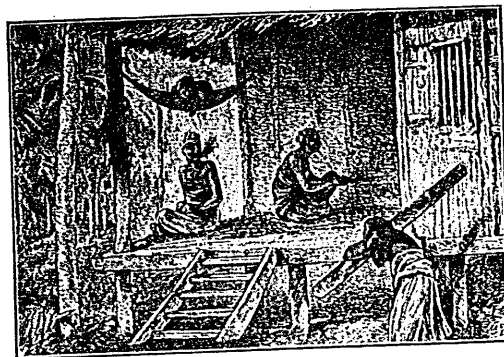
ルマ、海峡殖民地、マライ保護國よ

り成れり。

バルマは印度支那半島の北西

部を占めベンガル灣、ベグー海に

臨み、南流するサルウィン、イラワヂの沿岸には平低の地あり、



【州カマラ】 屋住の人イラマ

バルマ

ラングン

住民には佛教を奉ずるもの多く、農牧を主業とし、米、チーク、牛等の産あり、行政上、印度帝國に屬す、首府ラングンはイラワヂの分流に沿ひ大船の出入自由にして米の輸出多し、マシダレーは舊バルマ王國の都たりし處、バモは交通上の要地なり。

海峡殖民地

シンガポール

海峡殖民地はシンガポール島、ペナン島、マラッカ等より成りてマラッカ海峡に面す、シンガポールは同名の島の南東端にあり、世界屈指の良港にして交通の要衝に當り商業甚盛なり、ペナンも亦錨地を備ふ。

マライ保護國は數邦より成りて最要の物産は錫なり、またマライ半島の南端にヂオホール國あり、其の外交はイギリスに依りて代表せらる。

⑤ マライ群島

マライ群島はアジア洲の南東部にありてフィリピン群島、ボルネオ島、セレベス島、スンダ列島等多くの島嶼より成り有名の火山地方なり、気温高くして雨量少なからず、森林、薪として殆ど全土を蔽ひ、天産に豊富なり、住民は概々マライ人にして、政治上大部はオランダに、其の他は合衆國、イギリス、ポルトガルに屬せり。

アメリカ領。即ちフィリピンはマライ群島の北部を占め、ルソン、ミンダナオ、ビサヤ諸島等數多の島嶼を含む、住民にマライ人多く、イスパニア語最廣く行はる、生業は農牧二業を主とし、甘蔗、煙草、マニラ麻等の産あり。

ルソン

ルソンはフィリピンの最大島なり、恆春海峡を隔てて我が

マニラ

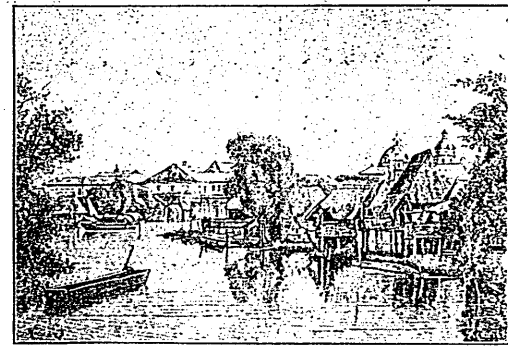
臺灣と相對し地味佳良なるも近海に暴風の起ること稀ならず、首府マニラは西岸にあり、商業地にして煙草の製造行

はる、カビテに軍港ありてセブは主要の開港として知らる。

オランダ領。オランダ領は我

が帝國の三倍以上に當りてオランダ領。東印度の主要部をなし、砂糖、煙草、珈琲、錫等の輸出あり。

ジャバ島は東西に亘りて火山に富み、人口甚稠密にして農業行はれ殊に砂糖の産に富む、バタビ



マニラ (バタビヤ河の畔)

バタビヤ

ジャバ

はオランダ領東印度の首府なるが、總督はボイテンツルグ

スマトラ



【パジャ】樹オカカ

に居り、スラガルタは島の中部に於ける要地にしてスラバ

ヤは良港に臨めり。

スマトラ島は赤道の南北に伸びマラッカ

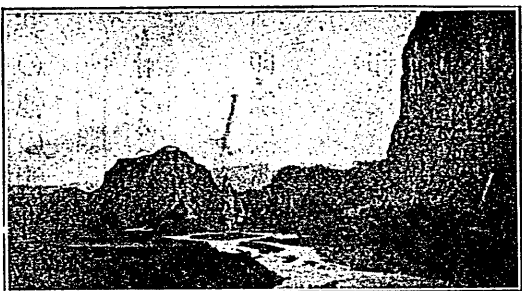
海峡を隔ててマライ半島と相對す、山脈は西部に偏在して
數多の火山を抱括しムシ河は東流す、バレンバンは島中の
最大都會たり。

パンカ島はスマトラ島の東にありてピリトン島と共に
錫の產地として知らる。

ボルネオ

ボルネオ島は世界第三の大島なり、海岸は著しき出入を

セレベス



【ラトマス】む部山セラメラリと近隣城クッコ

呈せず、内部には山岳、河流多けれども火山なく、天産には金
金剛石あり、「コユヤシ」、「セゴノキ」、簾、等あり、狸々、象犀、金絲燕、等
あり、政治上イギリスとオランダとに分領せられ、オランダ領は東、南、西の三
地方に跨りて、南岸のバンデールマシンは全島第一の都會なり。

セレベス島は狹長なる四半島より成りて奇形を呈し、内部は山岳に富め
り、南西岸にマカッサル港あり。

モルカ群島は丁香、肉荳蔻等の產出あるを以て著はる。

イギリス領

イギリス領はボルネオ島の北西部を占め

北ボルネオ、ラブアン島、ブルネイ及、サラワクより成り「セゴ」、其の他の輸出行はる。

ホルトガル領　ホルトガルはスンダ列島中のチモール島に於て僅少の地を有するのみ。

◎ 印度

印度は印度半島とセイロン島との二部より成れり。

◎ 印度半島

印度半島はアジア洲の南部に於ける三大半島の一にしてベンガル灣とアラビア海とに沿ひマナアル海を隔ててセイロン島と相對し面積は我が帝國の九倍に近し。

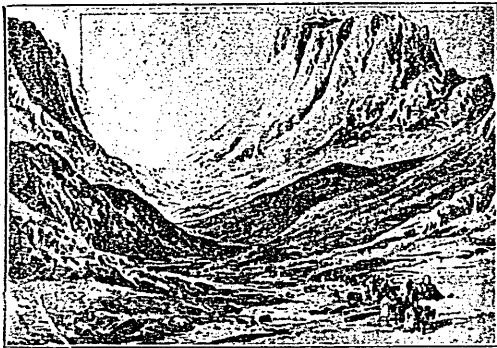
海岸は出入良港に乏しく、山脈は北部のカラコルム、ヒマラヤを以て主要とす、殊にヒマラヤ山脈には五大洲無比の

境域

土地

ブラマブトラ河

ガンガ河



越ムルコラカ

高峯ありてエベレストと稱せらる、本山脈とデカン高原との間にはヒンズースタン平野ありて三大河之を潤し、ガンガ、ブラマブトラはベンガル灣に入りインドス河はアラビア海に注ぐ。

ブラマブトラ河は西藏に發源しヒマラヤを迂回して二千五百軒以上の長あるも寒冷の土、人口稀薄の地を潤すに過ぎざれば効用は甚著しからず。

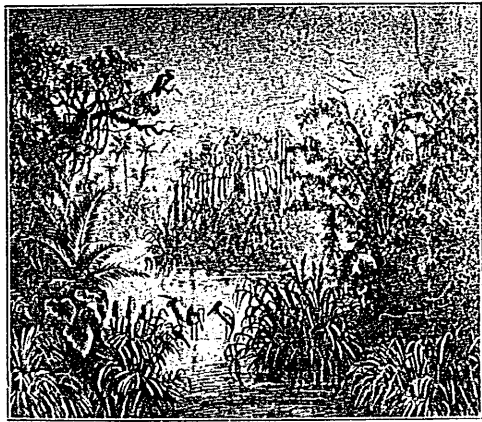
ガンガ河はヒマラヤに起り久しからずして流勢緩慢と成り平野の地を潤して下流はブラマブトラと共通の三角洲を形成し、末流の一派たるラーグりは通舟の便甚なり、流域は早く文明に赴きし處なり、支流は

インドス河

氣候

シムナを以て最長とす。

インドス河は西藏より來りバンジア河を受けて水量を増し長はガンガに優れるも効用は之に劣れり。



(林 園 湯) ラガシヤ

高山には永世不滅の氷雪を見るも、氣候は概して炎熱なり、南西の季候風は濕氣を齎らし、北東部には世界最多雨の地あれども、北西部には寡雨にして沙漠をなせる處あり、印度には乾魃の爲に大饑饉の起ること少なからず。

氣溫高くして土地豊饒なれば、植物は盛に繁茂して竹、籐、チーク、パニヤシ、コユヤシ、等

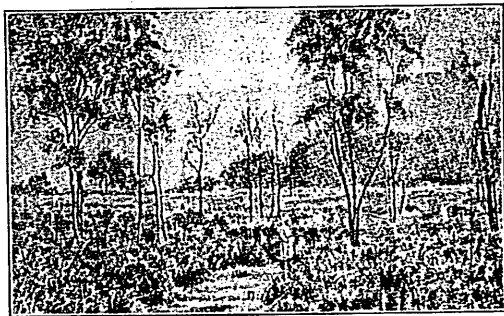
天産

あり、動物に象、犀、虎、鰐魚、毒蛇等あり、礦物には金、鐵、石炭等少なからず。

住民

人口は凡そ三億あり主として白色人種に屬し、ヒンヅ、ラヂプト等の種族を見る、最有力なる宗教は印度教にしてマホメット教之に次げるが、佛教は振はずして殆其の跡を絶ち、キリスト教徒も亦少數なり、言語の種類頗る多く、僧侶、軍人、平民、役夫等種姓の別今尙存し、教育の恩恵に與かるもの甚少し。

本半島は概しイギリスに屬すれどもネパール、ブータン、又はフランス、



茶樹の栽培

ポルトガルの領する處もあり。

獨立國 印度半島には二の獨立國あり、一をブータンと云ひ一をネパールと稱す、孰もヒマラヤ山脈に據るなり。

印度帝國

イギリス領 印度半島は僅少なる部分を除く外、悉くイギリスの版圖に屬して印度帝國の主要部をなせり。

生業

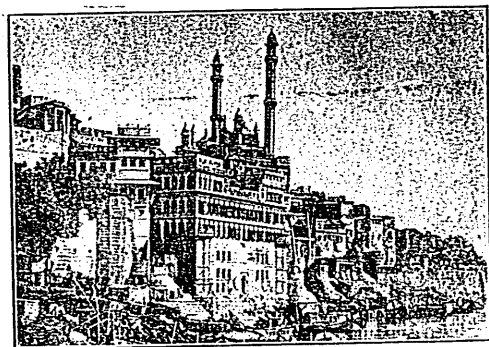
主なる生業は農業にして米、茶、珈琲、罌粟、インヂゴ、黃麻、綿等を與へ、工業も頗る有望なり、重要輸出品は米、小麥、綿、黃麻、阿片、黃麻品、皮類、綿絲等にして鐵道も漸次發達せんとす。

政治

行政上は本國ロンドンに印度事務省を置き、カルカッタに總督府を設けて各般の政務を管理せしむるが、印度皇帝はイギリス王の兼ねる所なり、而して本領土は直轄地と保護地との二種に分たる。

カルカッタ

カルカッタは印度帝國の首府なり、市街はガンガ河の一派に沿ひて物貨の集散盛に行はれ、人口は百萬に餘れり、バトナはインヂゴ貿易の大中心なり、ベナレスはガンガ河に沿



スレンナベ

ボンベ

ひ印度教徒の聖地なり、デリーはジムナ河畔に建てり、往時ムーガル帝國の首都たりしことあり、シムラは避暑地として名高し、ラホールはインドス河の流域に位して交通上の要區なり、カラチは商港として知らる、ボンベは西岸の小島にありて良港を有し、綿、米等の輸出多きのみならず、紡績盛

ハイデラバ
ード

マドラス



マセローラ
[セローラ島]

なり、ハイデラバードは
デカンの内部に於ける
大都會とす、マドラスは
東岸にありてインド屈
指の商港なり、ツチコリ
ンも亦錨地を有す。

ポルトガル領 現今ポルト

ガルの手に残留する處は西岸
に於けるゴア等の三處のみ。

フランス領 フランスはポ

ンデシエリー、其の他の四處を保
有するに過ぎずして、ポルトガ
ル領より一層狭し。

◎セイロン島

セイロン島は印度半島の南東に當り、海岸は單純にして
良港に乏しく、内部には山岳多し、氣候は低地に酷熱なるも
高地は溫暖にして、怡、長春にあるが如し、住民は主に佛教を
信じて農を業とし、茶、椰子油、黒鉛等を輸出す、行政上はカル
カッタの總督に屬せずしてイギリス本國に直隸す、首府コロ
ンボは西岸にありて交通上の要地たり、北東岸のトリンコ
マリはイギリス艦隊の根據地なり。

●イラン高原

イランはインドスの西、チグリスの東に於ける一帯の高
原にして、北東はバミル、北西はアルメニアに接す。

海岸は出入に富まずして、島嶼も亦多からず、山脈は北部

コロ
ンボ

にヒンヅークシ、エルブールズありて東、南、西に於けるものと共に、内部の高原を包圍し、空氣甚だ乾燥にして處々に沙漠を現出せしめたり、然れども水量に不足なき地方には植物を産し獅子、豹等の野獸を見る。

住民は概白色人種に屬してマホメット教を奉ず、政治上はアフガニスタン、バルチスタン、ベルシアの三國あるも獨立の實あるは唯、ベルシア國のみ。

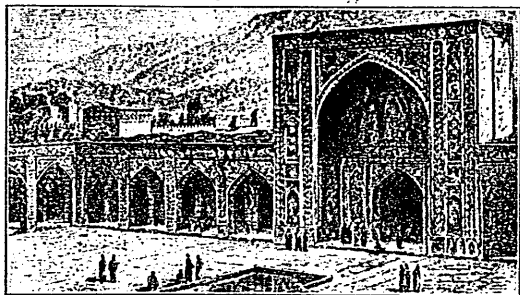
バルチスタン　バルチスタンはイラン高原の南東部にありてアラビア海に沿ひ物産多からず、政治上イギリスに屬するがケラトは北部に位し、ケタは軍事上の要區たり。

アフガニスタン　アフガニスタンはイラン高原の北東部にありて海に瀕せず、ヒンヅークシ山脈の北にアム河流

れ、南にヒルマンド河あり、政體は君主專政にして表面上獨立國なれどもイギリスの爲に制肘せられ國勢振はず、牧畜耕種行はれ果物の産少なからず、通商上イギリス又はロシアと取引す、首府カブールは交通の要衝に當りヘラット、カンダハルと共に商業の要地とす。

ベルシア　ベルシアはイラン高原の西部を占め、カスピ海、ベルシア灣等に沿ふ、北部のエルブールズ山脈中にはデアベンドと稱する高峯あり、氣候は極めて大陸的にして河流は概水量少なし、國土の大部は不毛の地にして耕地乏しきも住民には農牧を營むもの多く穀類「デイト」馬、駱駝等を産す、政體は君主專治なりしが、近年憲政の實施を試みて未だ好果を收めず、當國もイギリス、ロシアに重大の關係を有す

テヘラン



マホメッド教院

る處にして國都方面は頗る露化しつ
つありと云ふ。

首府テヘランは北部に位す、タ
リーズはウルミア湖の東方にある
商業地なり、ブシルはペルシア灣
の主港なり。

アラビア

アラビアは世界屈指の大半島に
て我が國の約六倍に當り、ペルシア
灣、アラビア海、紅海等に沿ふ、海岸は
屈曲に乏しく、内部は高原をなして沙漠の地多く、氣候炎熱
にして乾燥甚しけれども、處々に泉地なきに非ず、天産は多

からざるが珈琲、「デイト」「ゴム」、馬駱駝、眞珠は有名なり。

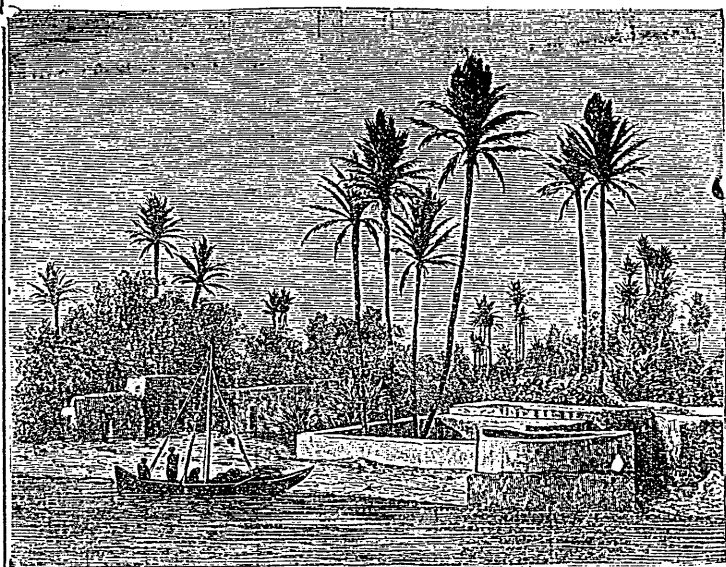
住民は主に白色人種に屬し、マホメット教を奉ず、而して沿
海地方はオマーン、トルコ、イギリス等の領する所なれども
内部には無所屬の地あり。

オマーン オマーンはアラビア半島の南東にある獨立
國にして「デイト」、眞珠などを輸出し、印度との關係は親密な
り、首府マスカットは良港を有す。

トルコ領 トルコ領はペルシア灣及び紅海の沿岸にあり、
メッカ并にメヂナはマホメット教徒の聖地たり。

イギリス領 アデンはアラビア半島の南西部に位し紅
海の口に近く交通上の要區たり。

アジアトルコ



シヤメツナるけに於に畔河スリガチ

アジアトルコは三大洲に跨れるトルコ國の一部にしてアジアの西方にあり、面積は我が帝國の約四倍に當れり。

地形は單一ならず、小アジア半島は黒海、エーゲ海、地中海、等に沿ひ、エーゲ海は港灣島嶼に富む而して高原に小アジア、アルメ

ニア(一部)等ありて、チグリス、エウフラトの流るる地方にメソポタミア平野あり、また死海は世界無比の窪地にありて、其の水面は地中海面より低きこと約四百米突、鹹味甚しくして魚類の生活に適せず、氣候にも異同少なからざるが沿海地方は溫和なり。

エウフラト

エウフラト河はアルメニア高原に發し漸次南流して水勢急なるチグリスを合はせてシャトエルアラブ河と成りてペルシア灣に入る、此の流域は太古早く文明に赴きし處なり。

住民は複雑なるも大抵マホメド教を奉じ、生業は農牧を主とし穀類、果物等の産あり、畜産に山羊、綿羊等あり、鐵道の敷設は漸多からんとす。

スミルナ

スミルナは小アジアの西岸に位し商業盛なり、シリアのダマスク及チグリス河畔のパグダードは商業の要區たり、

イェルサレムは宗教史上最、著名の地なり。

キプロス島并にサモス島はトルコ領の名あれども甲者はイギリスに管理せられ、乙者は自治的の貢國たるに過ぎず。

● アジアロシア

ロシアはヨーロッパの東部とアジアの北部とより成りてアジアロシアはコーカシア中央アジア及シベリアに分かれ、全アジア洲の三分の一以上ありて地域廣大なれども有用の地は多からず。

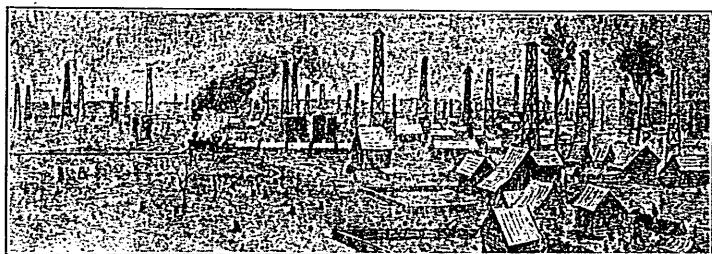
コーカシアはカスピ海の西、アゾフ海及黒海の東に位して北はマニチ河に達し、南はアルメニア高原に及び、カフカズ山脈は之を南北の二部に分つ、而して北部はステップより成るが、南部は高臺、盆地に富み、クラ河の流る

るあり、寒暑、乾濕は土地に依りて差異甚し。

住民は幾多の種族より成りて、生業は鑛業を以て主とし、石油の産に富めるが、農、林、水産の諸業も行はれ、ヨーロッパとの間に鐵道の便あり。

チフリスはクラ河に瀕し、太守府のある處なり、バクーはカスピ海に沿ひ當地第一の商港たり、附近に石油の産甚多し、ボチ及びバツームは黒海岸の小港なり、ウラヂカラカズは内コーカシアにありてダリエル峠の咽喉に當れ

チフリス
バクー



(一) ク バ 地 産 油 石

り、兵事又は商業上の要地とす。

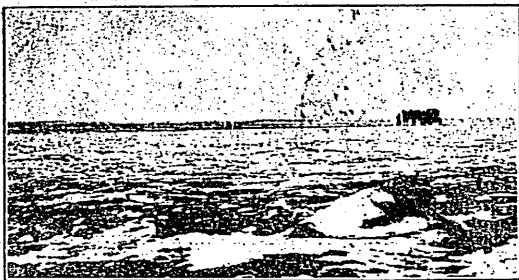
中央
ア
ジ
ア

中央アジアはカスピ海の東に位し、平低の

地多きも、ステプ井に沙漠は其の要部
を占む、山岳は南東部にありてナムシ
ル、イリの三河はアル海或はバルバ
シ湖に入る、氣候は大陸的にして雨量
少なく、沙漠の地は熱風に苦めらる。

アム河は古名をオクスと云ひ、バミルに發源す。往古はカスピ海に入りしが今はアラル海に終る。而して古のヤクサルト即チシル河の下流も屢移動せりと云ふ。

住民は其の數少なく主に黄色人種に屬し、マホメッド教最、勢力あり、產物は



プ ッ テ ス ス キ ル キ

少なじと雖、ロシアの南下には極めて重要な地なれば、カス
 ビ海に汽船を浮べ、トランスカスピ鐵道并にサマラ―タシ
 ケント鐵道を建造し大に交通に注意せり、而して北部には
 内務部の直轄せる處あれども、其の他は二總督をして分管
 せしむ。

タシケントはシル河の流域に位し中央アジアの最大都會トルキスタン總督の駐在地なり、サマルカンドは更に名ありメルフは鐵道の分岐點にしてクラスノボドスクは交通の要地たり、オムスグはシベリア鐵道に沿ひステップ總督の居る處なり。

「プロラとセバとは孰れも専政國にして共に外交權をロシアに委ねたり。」

シベリヤはアジアの北部にありて東西に長

く、面積は我が國の約二十七倍に當る。

海岸線は長からざるに非ざるも概して結氷の爲に閉塞

す、山脈は南境にありて土地は概北
方に傾き、オプ、イニセイ、レナの三河
は北極洋に入るが、アムル江はオホ
1ツク海に注ぎ、バイカルは最大の
湖たり、またカムチャツカ半島には火
山多し。



【カツチムカ】山火ツツア

オプ、イニセイ、レナは流長流域孰も大な
れども、氣候寒冷、人煙稀少の地にあるを以
て其の効用は著しからず。

バイカルはアジア第一の淡水湖にして世界の湖沼中最、深しと稱せらる、
毎年十一月より翌年の五月まで氷結す。

バイカル湖

氣候

天産

湖



(鹿馴)ヒガナトとラドンツ衣地

氣候は大陸的にして
氣溫一般に低くベルホ
ヤンスクは世界最寒の
地と稱せられ、雨量も概
少なし、而して北極洋に
沿へるツンドラは地衣
蘚苔の類を生ずるのみ
にして、其の南に於ける
森林地方には樹木繁茂
し、ステップ地方には草原
多し、動物は寒地特有の
毛皮獸多く、魚類も亦豊

あじあ洲 アジアロシア

住民

天竺

餘地

富にして、鑛物には金、銀、鐵等少なからず。

土地の廣大なるに拘らず、人口は甚だ少數にして北部は極

めて粗なり、種族は錯雜なれど

も白色人種、殊にスラフ派多き

を占め、主にギリシア教を奉ず、

生業の主なるものは獵、漁、農、

牧、鑛等にして工業の如きは其

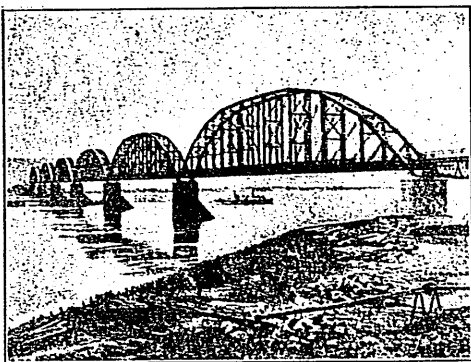
の發達極めて遅々たり、交通は

未だ不充分なれども、有名なシ

ベリア鐵道あり、馬車、樞あり、夏

季には汽船の來往少なからず、海底電線は我が國に通ぜり。

ロシアは三百餘年前よりシベリアの侵畧を行ひ遂に東



〔近附クスルヤノスラク〕橋イセニエ
突米八三九さ長

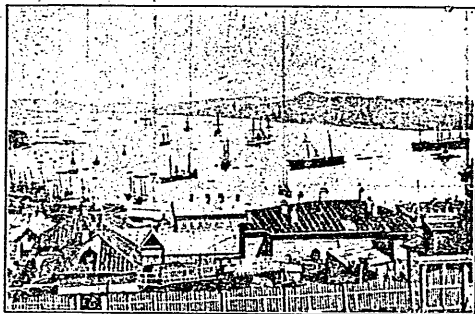
の方、太平洋岸に達せしが、明治三十七八年戰役の結果、樺太島の南部を失へり、行政上サハリン（北樺太）の外に四省、四州を設け、二省は内務部の直轄なるが其の他はイルクツク、アムルの二總督分管す、海軍は微弱なるも陸兵は稍多し。

内務部		行政區	地積	人口	密度	首府
イルクツク總督	イェニセイスク省	トボルスク省	一三八、七四三	一四三、三〇四	一〇	トボルスク
	イルクツク省	トムスク省	八四、七五九	九二、七六九	二三	トムスク
	イルクツク州		二五、二五九	五七、〇六二	〇二	クラスノヤルスク
	ヤクーツク州		七三、六二六	五、四三六	〇七	イルクツク
アムル總督	後バイカル州		三九四、七六六	二六、九八〇	〇〇七	ヤクーツク
	アルム州		六、三三六	六七、〇三三	一一	チタ
沿海州			四五、七六七	一三、〇三六	〇四	ブラゴベシチェンスク
			一八、七六八	二二、三三六	〇一	ハバロフスク
サハリン			四、四〇〇	?	?	アレクサンドロフスク

トムスク

イルクツク

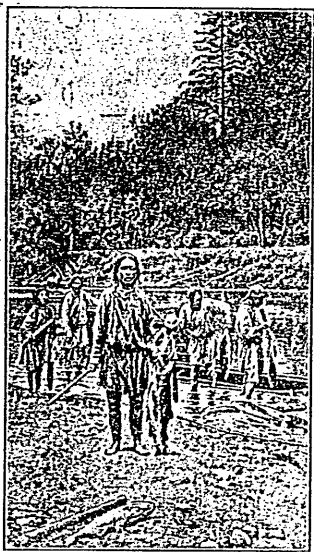
ウラヂボストク



港角金クトスノボラウ

トムスクはオホ河の支流たるトム河に瀕して商業盛に行はれ、省廳并に大學あり、バルナウルはアルタイ鑛區の中心にあり、イルクツクはアンガラ河に沿ひ、貴金屬の集散多く、總督府の所在地なるが人口はトムスクに及ばず、キアフタは清國に對する貿易場なり、ブラゴベシチンスクはアムルに臨みてハバロフスクと共に州廳を有す、ウラヂボストクはベテロ大帝灣に瀕し、港内廣大安全なり、軍港としては頗る防衛に便なるも冬季は碎氷船を用ふるに非ざれば通航する能はず。

サハリン(北樺太)は樺太の北部にして北緯五十度線を以て我が樺太(南樺太)と境し、間宮海峡を隔てて大陸と相對す、



(近附河ムイト)クアリギ

北西にはバイカルと稱する大灣あるが、海岸は出入に乏しく、山脈は南北に走り、トイム河はオホーツク海に注ぐ、氣候寒冷なれどもロシア人、半リ阿克人、オロク人等の住するありて、水産物に富み、多少の林産、獵産ありて、石炭も採掘せらる、交通は未だ不便なり、首邑アレクサンドロフスクはドウエと共に西岸にあり。

あじあ洲終

おせあにあ洲

オセアニア洲即大洋洲はオーストラリア大陸并に廣大なる海面を占むる數多の島嶼より成るも、地積は九百萬方呎、我が國の二十倍に達せずして五大洲中の最小なるものなりとす。

●大陸部

大陸部はオーストラリアとタスマニアとより成る、オーストラリアはアジアの南東にありて東西に長く南北に短く、海岸は屈折多からずしてヨーク半島の西に於けるカルペンタリア灣、大陸の南部に於けるオーストラリア大灣の

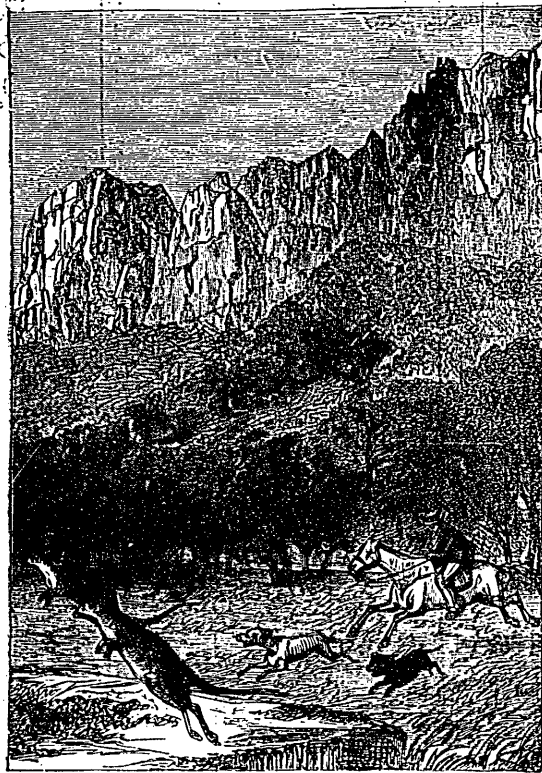
如きは孰も開濶なり、而して北東岸は有名なる珊瑚礁堤を繞らせり、またタスマニア島はオーストラリアとバース海峡を挾めり。

極北	ヨーク岬	南緯	一〇・五〇
極南	ウィルソン岬	南緯	三九・一〇
オーストラリア	インスクリプション岬	東經	一一二・五二
極西	バイロン岬	東經	一五三・三四

山岳は顯著ならず、南東部にはオーストラリアアルプもあるも、海拔は二千三百米突に達せず、内部は起伏に乏しき高臺をなし、河流は水量少なくしてダーリング・ムーレー最長、湖沼は數多けれども水淺し。

ムーレー河はオーストラリアアルプの西面、コシヤシコ山の南に發しアレクサンドリナ湖を経て南海に注ぐ、長は一千八百呎あり、支流はラクランを提げ來るマーランビッヂー及二千呎に達するダーリングを以て主とす。

ムーレー河



山岳とカンガルー

北部は炎熱なるも気温は南するに従ひて減じ、南東部は氣候佳良なるが、内部は空氣乾燥降雨稀にして沙漠を現出

天産

發見

し、暑候には五十度に昇ると云ふ。

生物には「ユウカリ」の外、火焰樹、酒壺樹、草樹、「カンガル」

「モノハシ」、「ヒクヒドリ」等特異のもの

のありて、牛、馬、羊、穀類等はヨーロッパ人の移殖に係れり、鑛物には金、

銀、銅、石炭等あり。

オーストラリアの發見は新しくして今

を去る三百餘年の昔イスペイン人トレス

はバプアと本大陸とを離隔せる海峡を通

過し、其の後オランダ人タスマンの數回の

探検を試みたるあり、イギリス人クックは東

岸を探査し、バスは同名の海峡を發見して

タスマニアの島たるを確定せり、而してクックに依りてイギリス領とせられしニューサウスウェールズに諷流的殖民地の創建せられしより内部の探検漸

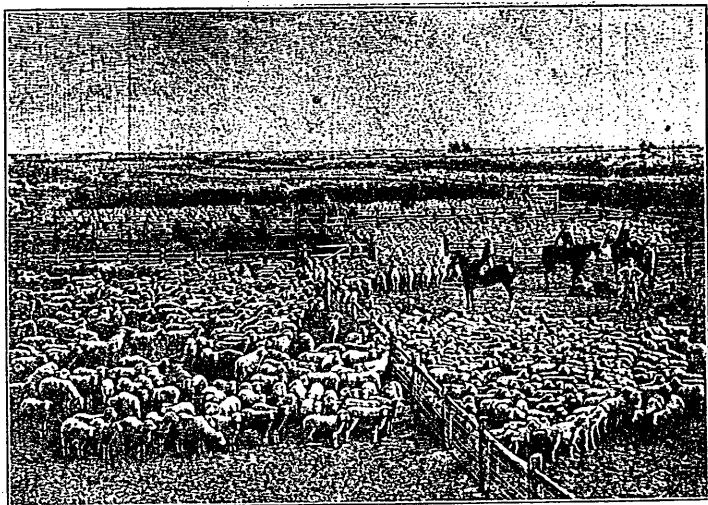


内部の乾燥に於ては水草は地をす失に僅に乾燥の部に小矮のアシカア、スクツェフニヒスに僅みの見る存の。アラクス及。カウ

おせあにあ洲大陸部

住民

生業



綿羊の牧場

歩を進め、金鑛の發見は大に來
住者を誘致したり。

人口は凡、四百萬あり、
白人、殊にイギリス人の
殖民は著しく増加せし
に反して蒙昧なる土人
は甚しく減少せり。

牧、鑛の二業は最、盛に
して羊の頭數は世界第
一と稱せられ、産金は巨
額に達し、銀、銅、石炭も亦
多し、農業は穀類、甘蔗、牧

政治

シドニー

草等を與ふ、貿易は次第に發達し羊毛、金、小麦、「バター」、生肉、生皮、
銅、銀等の輸出ありて主、にイギリスと取引せらる、鐵道は南
東部に多く敷設せられ、電信線は大陸を横斷するのみなら
ず、海底線亦備はり、海路の交通も便なり。

オーストラリア聯邦 (Commonwealth of Australia) はビクトリ

ア、ニューサウスウェールズ、クインズランド、サウスオーストラ
リア、ウェストオーストラリア、タスマニアの六原州より成り
てイギリスに屬するも、事實上は自治的の合衆共和國にし
て總督は内閣と議會とに依りて各般の政務を處理す、而し
て各州も亦知事と議會とを有す。

ニューサウスウェールズ (New South Wales) は金、銀、石炭を産じ綿
羊の飼育は甚盛なり、首府シドニー (Sydney) はポートジャクソ

ンの南岸にありて工藝には見るべきものあり、ニューカッスル (Newcastle) は石炭を集散す、ダルゲチー (Darby) は聯邦首府の建設せらるべき處なり。

ビクトリア (Victoria) は金に富めるのみならず、小麥、葡萄の産あり、首府メルボルン (Melbourne) は商業地にて其の繁華シドニーと伯仲す。

クインズランド (Queensland) は金、銅、錫に富み、マウシントモ ガン 金山は世界第一の稱あり、また牛の飼養を以て聞ゆ、首府をブリスベーンと云ふ。

サウスオーストラリア (South Australia) は銅、金に富み、小麥、葡萄を産す、首府はアデレードなり。

ウェストオーストラリア (West Australia) は金を産すること多

メルボルン

ブリスベーン

アデレード

パース

ホバート

塔蘭

土地

住民

く眞珠の採取行はる、首府をパースと云ふ。

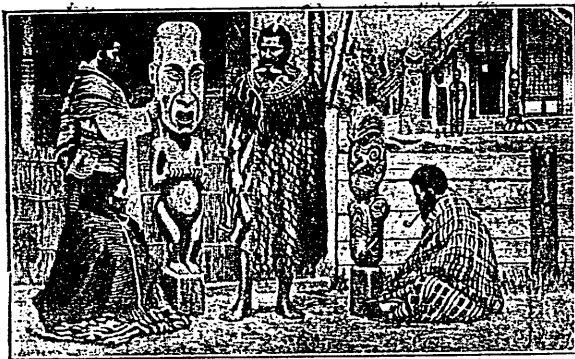
タスマニア (Tasmania) は石材を産し、錫を與へ、ホバートを以て首府とす。

● 島嶼部

島嶼部は一大島と若干の中島、無數の小嶼より成りて廣大なる海面に散布し、火山質の高島と珊瑚質の低島あり、氣溫は甚しき降下を示さず、動物の種類は多からずして各地に普及せる動物は鼠の一種に止まり、植物には「ユーヤシ」、「バンノキ」等あり。

住民には黒色のバプア人あり、淡色のポリネシア人あり、黒色人は未だ蠻風を脱せずして争鬭を好み、人肉を啖ふこと

分國



オマハ淡色派に屬す主とてニジーラワンに居住む

あるが淡色人は溫和にして友誼に厚く外人と交際するを厭はず、文明を慕ひ喜びて固有の習慣を捨つるものの如し、此の外西洋人にはイギリス人、ドイツ人、フランス人等あり、東洋人には支那人、日本人あり、殊に日本人はハワイ群島に多し。

島嶼部は全然外人の掌中にありてイギリスを主とし、オランダ、ドイツ、フランス、合衆國等、各若干の地を有せり。

分國表

所領	土	地積	人口
イギリス	ニージーランド、南東バプア、フィジー諸島、トンガ諸島、サロモン諸島(大部)、等	五七九二	一五、二三六
オランダ	西バプア	二九四七九	二四、〇〇〇
ドイツ	北東バプア、サモア群島(大部)、等	二四、八六九	四、三〇〇
フランス	新カレドニア島、オセアニア領土、等	二四、三三五	八、九〇〇
アメリカ	ハワイ群島、グアム島、サモア群島(小部)、等	一七、四二七	一六、七六七
チレー	ラバヌイ島、等	一、二〇	一、五〇
イギリス	ニージーランド、等	一、三三七	六、〇〇〇
フランス			

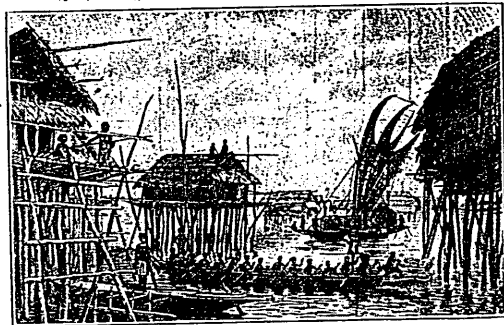
島嶼部を分ちて沿岸島嶼、大洋島嶼の二とす。
沿岸島嶼 沿岸島嶼はオーストラリア大陸の北方より起りて北東に赴き更に南微東に亘り、北端のバプアと南端

おせあにあ洲 島嶼部

のニューギニアランドとはメラネシアを挟めり。

バプア

バプアは世界第二の大島にして我が國の二倍



四バプア土人の住居

分たれ、北東部はドイツ、南東部はイギリス、西部はオランダ

に近き面積を有し、ドレス海峡を隔ててオーストラリア大陸と相對す、海岸は屈曲に乏しきも内部殊に東部には高峯少なからずして西部には平低の地多し、河流は北にアウグスタありて南にフライあり、全島雨多く氣候概不良なり、天産の最、有名なるは風鳥なりとす、住民は黑色のバプア族多きを占む、政治上三部に

に屬す。

メラネシア

メラネシア 黒人島の意はビスマルク、サロモン、

新ヘブライズ、新カレドニア、フジー等の諸島を含む。

ビスマルク群島はドイツの保護地にして「コブラ」の産少なからず。

サロモン諸島は北西より南東に伸びてドイツ領は白檀、鼈甲をイギリス領は「コブラ」を輸出す。

新ヘブライズ諸島はイギリス、フランス兩國の連合管理の下にあり。

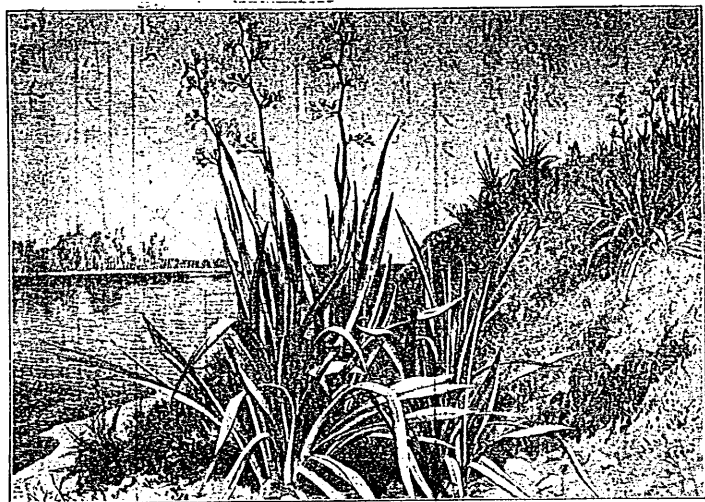
新カレドニア島は狹長にして南北に亘り氣候佳良にして長春にあるが如し、「ニッケル」の産少なからず、首

新カレドニア



ナタ火の山（ニューカレドニア）

フイジー



ふ奥か維織の頂佳れらせ稱と麻ドンラーキ新に俗はムアミルオフ

府ヌメアは良港に瀕す。フイジー諸島は二大島と二百數十の小島より成り地味氣候共に佳良にして砂糖「ユウヤシ」の産あり此の地はイギリスに屬し首邑スバは交通の要區たり。

ニージーランド

ニージーランドはクック海峡にて隔てられたる南北の二大島と若干の小

ンウエリント

島とより成る北島には火山の活動尙止まずして南島の高山は氷河を頂く氣候は一般に溫和にして健康に適し土人即マオリは漸次減少するもイギリス人は大に増加せり政治上自治的殖民地をなしてイギリスに屬す金銀銅等の産少なからずして綿羊の飼養盛に行はれ羊毛生肉金「バタフラミアム」の輸出あり。

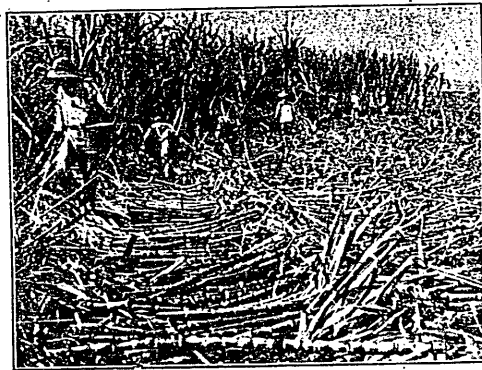
首府ウエリントンはクック海峡中の良港に臨みオークランドは交通の要地にして孰も北島にありクリストチャーチは南島の最大都會なりとす。

大洋島嶼 大洋島嶼は赤道の南北に亘りて散布せらるる無數の島嶼より成りて眞の大洋洲を爲す北西部をミクロネシアと云ひ其の他をポリネシアと云ふ。

ナ等の諸島より成れり。

ミクロネシア

ミクロネシア 微細島の意はマリアナ、カロリ



【イラハ】栽培蔗甘の人邦

マリアナ諸島はミクロネシアの北西部にありて火山質の山岳に富む、舊イラパニアに屬せしが最大島グアムは合衆國領と成り、其の他はドイツに賣渡されたり。

カロリナ諸島も亦イスパニア領なりしが今はドイツ領なり。

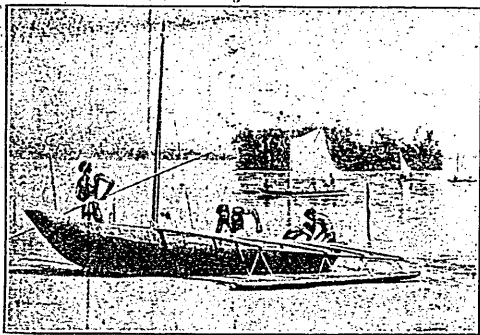
ポリネシア

ポリネシア 多島の意

は無數の島嶼より成るも、主要なるものはハワイ、サモアの二群島なり。

ハワイ

ハワイはポリネシア最要の島嶼なり、アジアよりはアメリカに近くしてハワイ、オアフ等の八島を含む、此等は概々火山質にして起伏多く、マウナケア



【アモサ】舟群天

はオセアニアの最高峯と稱せられキラウエアは有名の火山なり、氣候は一般に健康に適し晴天多し、此の地は舊主國なりしが近年革命ありて遂にアメリカ合衆國に合併し、同國の一領土として知事に管理せらる、住民には日本人、土人即チカカ、白人、支那人等あり、海來住者は我が日本人を主とす、産物には砂糖、米等あり、海

K220,24-26a

サモア

底電線はアメリカ及アジアに通じ、汽船と共に交通上大なる便を與ふ、オアフ島のホノルルはハワイの首府にして交通の要地たり。

サモアは南ポリネシアの最要區たり、其のツツイラ島はアメリカ合衆國に屬し、其のサバイ、ウボル、等はドイツに屬す、アビアはウボル島にあり、良好の錨地を有す。

おせあにあ洲終

明治四十一年九月十日印
明治四十一年九月十五日發
明治四十二年二月三日修正印刷
明治四十二年二月六日再版發行



著者

東京市本郷區西片町十番地

野口保興

發行者

東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地

黒甚七

發行者

東京市日本橋區通三丁目十番地

河出靜一郎

印刷者

東京市京橋區西紺屋町廿六、七番地

佐久間衡治

發行所

東京市京橋區南傳馬町二丁目

目黒書店

發行所

東京市日本橋區通三丁目

成美堂書店

中等
教科外國地理與附

定價
上巻 各金四拾五錢
下巻 各金四拾五錢

232
134

